



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社 ホウスイ

上場取引所 東

コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 乃美 昭俊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 石本 哲也

TEL 03-6633-3323

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	37,240	3.4	333	32.0	234	54.2	68	77.9
30年3月期第2四半期	36,015	0.4	490	10.5	511	8.4	308	9.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 99百万円 (71.7%) 30年3月期第2四半期 351百万円 (8.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	8.15	
30年3月期第2四半期	36.82	

(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	37,760	6,404	15.5	697.80
30年3月期	33,471	6,480	17.8	710.73

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 5,843百万円 30年3月期 5,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				20.00	20.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,600	0.4	710	15.2	570	35.7	250	41.0	29.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	8,379,000 株	30年3月期	8,379,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期2Q	5,271 株	30年3月期	5,225 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	8,373,757 株	30年3月期2Q	8,374,086 株
----------	-------------	----------	-------------

平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなか、相次ぐ自然災害による影響はあったものの、緩やかな景気回復基調が続いておりますが、海外経済については米国の通商政策による貿易摩擦が懸念され、景気の見通しについては予断を許さない状況にあります。

水産・食品業界におきましては、節約志向を背景として個人消費に足踏みが続くなど、厳しい経営状況が続いております。このような状況の下、当社グループは引き続き消費者の食に関する基本的ニーズを的確にとらえて安全・安心な食品を提供し、グループの持つ設備や機能を最大限に活用して収益確保に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高372億40百万円（前年同期比12億24百万円増）、営業利益3億33百万円（前年同期比1億56百万円減）となりましたが、川島物流センターの建設資金の借入れに伴う手数料を営業外費用に計上しましたため、経常利益は2億34百万円（前年同期比2億77百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（前年同期比2億40百万円減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、他社の大型冷蔵庫の稼働に伴う競争激化による在庫量や入出庫量の減少により、保管料売上や荷役料売上が減少しました。

その結果、売上高は25億24百万円（前年同期比1億50百万円減）となり、営業利益は1億64百万円（前年同期比1億65百万円減）となりました。

② 水産食品事業セグメント

水産食品事業セグメントは、水産食材卸売部門においては、主力のエビなどの取扱数量の増加により売上は前年を上回りましたが、主要魚種の利益率の低下により営業利益は前年を若干下回りました。リテールサポート部門においては、主要得意先への新規商材の取扱いなどにより売上高が増加したことに伴い、営業利益も前年を上回りました。食品製造販売部門においては、売上高は既存店への販売強化に伴う増加があったものの、あん工場の移転による稼働減のため前年並みとなりましたが、営業利益は工場移転に掛かる費用の発生により減少しました。

その結果、売上高は347億16百万円（前年同期比13億75百万円増）となり、営業利益は1億69百万円（前年同期比8百万円増）となりました。

セグメント業績の詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比42億88百万円増加し、377億60百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産、売上債権の増加等により、前期末比8億52百万円増加の127億90百万円となりました。

固定資産は、冷蔵倉庫事業セグメントの設備投資等により前期末比34億35百万円増加の249億70百万円となりました。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比43億65百万円増加し、313億56百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により前期末比8億25百万円増加し、141億53百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加等により前期末比35億39百万円増加し、172億3百万円となりました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益68百万円だったものの、株主配当金の支払1億67百万円等により、前期末比76百万円減少の64億4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想は、平成30年5月14日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,009	921
受取手形及び売掛金	6,997	7,661
商品及び製品	1,930	2,925
原材料及び貯蔵品	20	21
関係会社預け金	1,543	843
その他	442	421
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	11,937	12,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,204	24,560
減価償却累計額	△10,573	△10,958
建物及び構築物(純額)	13,631	13,601
機械装置及び運搬具	4,967	5,127
減価償却累計額	△3,219	△3,367
機械装置及び運搬具(純額)	1,747	1,760
工具、器具及び備品	514	519
減価償却累計額	△361	△378
工具、器具及び備品(純額)	153	140
土地	4,553	4,851
リース資産	797	766
減価償却累計額	△419	△382
リース資産(純額)	378	384
建設仮勘定	15	3,004
有形固定資産合計	20,479	23,743
無形固定資産		
のれん	141	127
その他	223	219
無形固定資産合計	364	346
投資その他の資産		
投資有価証券	393	580
長期貸付金	66	63
繰延税金資産	103	106
破産更生債権等	9	12
その他	155	155
貸倒引当金	△37	△39
投資その他の資産合計	691	879
固定資産合計	21,534	24,970
資産合計	33,471	37,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,992	7,296
1年内返済予定の長期借入金	522	818
1年内返済予定の関係会社長期借入金	159	159
短期借入金	3,820	3,620
関係会社短期借入金	100	500
リース債務	132	128
未払法人税等	196	102
賞与引当金	85	112
役員賞与引当金	11	—
本社移転損失引当金	4	3
その他	1,303	1,411
流動負債合計	13,327	14,153
固定負債		
長期借入金	10,952	14,467
関係会社長期借入金	1,562	1,482
リース債務	250	261
退職給付に係る負債	772	811
長期預り保証金	7	6
長期未払金	61	116
繰延税金負債	10	10
資産除去債務	47	47
固定負債合計	13,663	17,203
負債合計	26,991	31,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,220	1,220
利益剰余金	2,157	2,058
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,860	5,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90	81
その他の包括利益累計額合計	90	81
非支配株主持分	528	560
純資産合計	6,480	6,404
負債純資産合計	33,471	37,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	36,015	37,240
売上原価	33,122	34,469
売上総利益	2,893	2,771
販売費及び一般管理費	2,403	2,437
営業利益	490	333
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	18	—
賃貸収入	10	11
仕入割引	21	22
雑収入	22	26
営業外収益合計	77	62
営業外費用		
支払利息	52	56
借入手数料	—	100
雑支出	3	5
営業外費用合計	55	161
経常利益	511	234
特別利益		
受取補償金	173	191
特別利益合計	173	191
特別損失		
固定資産除却損	—	15
移転延期損失	185	222
特別損失合計	185	238
税金等調整前四半期純利益	499	187
法人税等	164	79
四半期純利益	334	108
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	308	68

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	334	108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△9
その他の包括利益合計	16	△9
四半期包括利益	351	99
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	59
非支配株主に係る四半期包括利益	26	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,674	33,341	36,015	—	36,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	96	8	105	△105	—
計	2,771	33,349	36,121	△105	36,015
セグメント利益	329	161	490	—	490

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,524	34,716	37,240	—	37,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	93	6	100	△100	—
計	2,617	34,723	37,341	△100	37,240
セグメント利益	164	169	333	—	333

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。